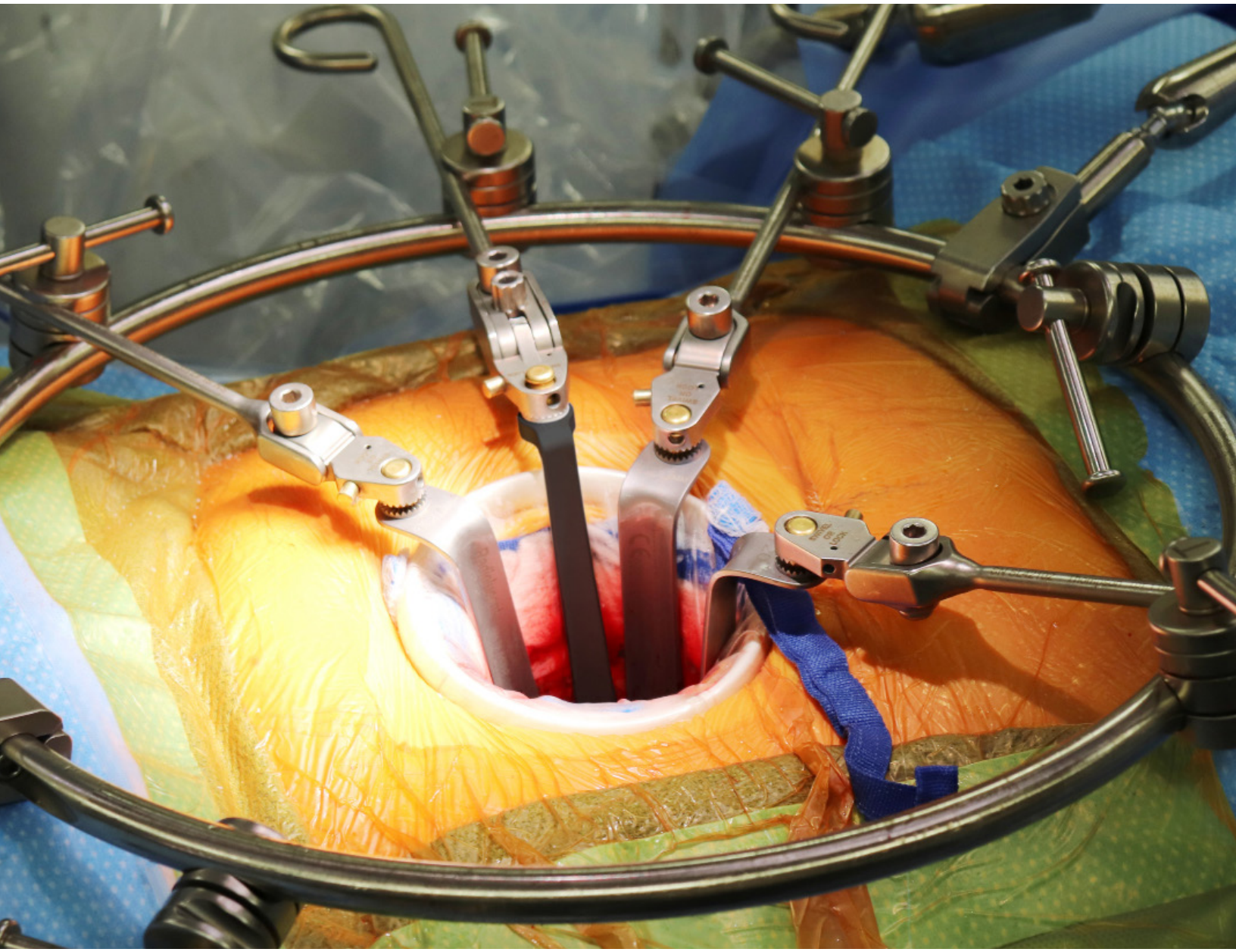


THOMPSONの技術：

先進的MIS ALIFアクセス

「Thompsonの腰椎前方リングシステムは、脊椎前面の露出を最大化しながらも切開を最小化し、正中からの露出を着実に行えるシンプルで安全かつ直感的なプラットフォームを提供する。」

- Jonathan E. Schoeff, MD, FACS

Jonathan E. Schoeff, MD, FACS

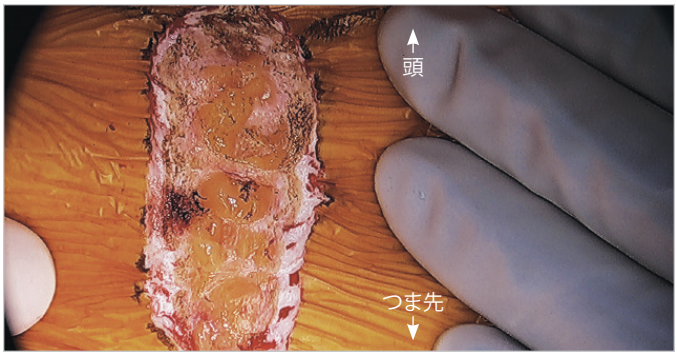
Dr. Schoeffはシンシナティ大学で研修を完了した認定一般外科医です。コロラド州デンバーにある彼の医院では腰部脊椎、胸腰椎、胸椎、および頸部の複雑な再手術などにおける脊椎前面露出術に傾注しています。専門治療が細分化した現代では、Dr. Schoeffが脊椎前面露出術に着目した治療を行ったことにより技術の著しい先鋭化が進み、脊椎前面の低侵襲進入法が可能になりました。

思想的リーダー、教育者、革新者としての彼が持つ脊椎前面スペースや安全で効果的かつ効率的な正中からの脊椎露出術の必要性に関する知見は、外科用リトラクター設計のマーケットリーダーであるThompson Retractorとの共同開発の基礎となっています。Thompson腰椎前方リングシステムに結晶化されたこの共同の取り組みの成果は、組織損傷が限局化された小切開部から脊椎の露出を最大化しながらもリトラクターの設置面積の最小化するという、従来のリングフレームリトラクターにもたらされた大きな進化に現れています。

「形状や方式など、あらゆる面においてThompson Retractorは優れていた。」

- Jonathan E. Schoeff, MD, FACS

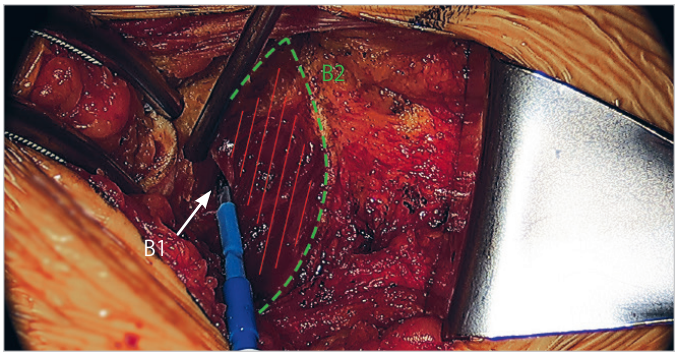
先進的MISの技術



ステップA：切開

メスを用い、通常4〜6 cmの範囲で皮膚を切開します。L5/S1単一レベルでの固定（ビキニカット）では横切開、L5（L4/5、L3/4など）より上またはあらゆる複数レベルの固定ではすべて垂直切開とします。

ヒント：既に手術創がある場合は、向きに関わらず皮膚切開に使用します。



ステップB：腹直筋鞘の前面を切開する

垂直切開：皮下組織弁を持ち上げ、焼灼法による正中傍（最も一般的には左側）からの筋膜切開を行います。

横切開：筋膜の横切開後、筋膜弁を持ち上げます（Pfannenstiel切開法様切開）。

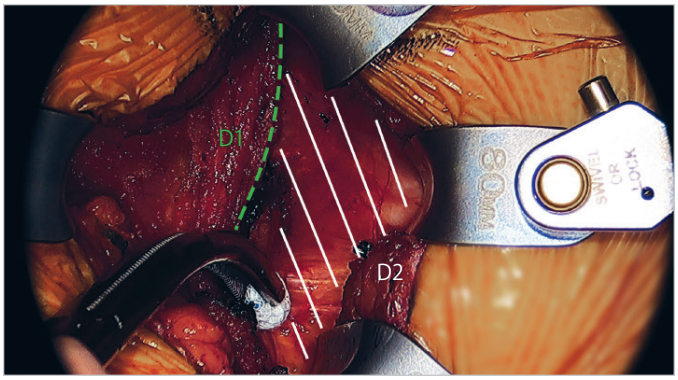
B1：露出した腹直筋
B2：筋膜

注記
Thompson Retractorは、未滅菌の状態で提供されています。器具の洗浄、滅菌および手入れ、その他の警告や注意事項についてはThompson Retractorの使用説明書を参照してください。

ご質問がある場合、またはさらに詳しい情報が必要な場合は以下にご連絡ください：+1 231 922 0177

先進的MISの技術（続き）

ステップC：リングフレームは別紙「腰椎前方リングユーザーマニュアル」に記載されるとおりにセットアップします

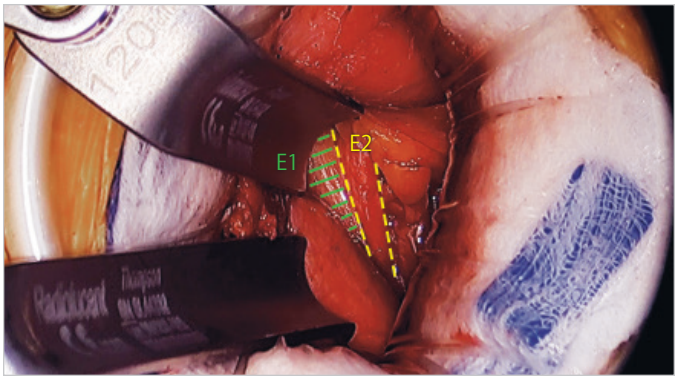


ステップD：直筋を授動して牽引する

皮膚および筋膜の垂直切開：腹直筋の正中での付着部は切離し、横方向に牽引します。

横切開：筋肉は正中で授動します。その後筋肉を横方向に牽引します。

D1：直筋筋膜の前面
D2：直筋筋膜の後面

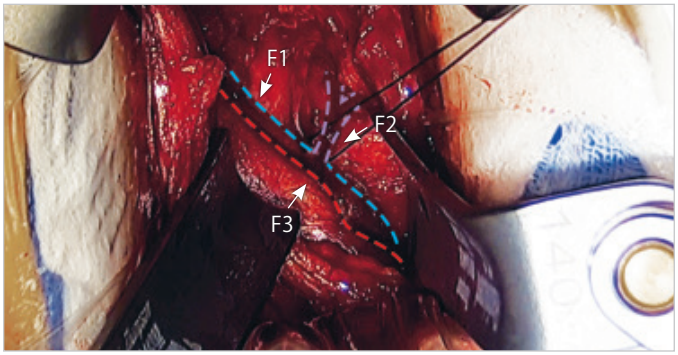


ステップE：腹膜および尿管を授動する

腹膜嚢は側腹壁から鈍的に授動して内側に牽引します。

腹膜嚢と同様に尿管も特定した後、授動して牽引します。

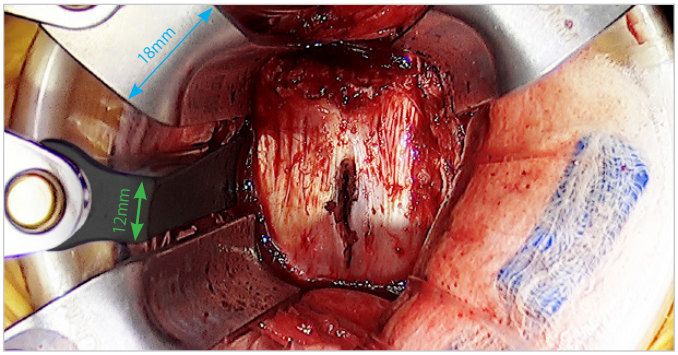
E1：腹膜
E2：尿管



ステップF：血管を授動・牽引する

血管を授動して牽引します。L4/5以上の露出中は、基本的に血管の外側面に沿って切離を行うのに対し、L5/S1スペースでは基本的に内側から腸骨血管まで切離します。区域の穿通枝は結紮します。

F1：左総腸骨静脈
F2：絹糸を用いた腸腰静脈のearly branch分岐部の近位結紮
F3：左総腸骨動脈



ステップG：脊椎の露出を完了し正中に印を付ける

脊椎の正中を露出させるようにリトラクターを配置します。蛍光透視法を使用して脊椎／椎間板の正中を特定し、焼灼法により印を付けます。脊椎への施術を行います。

ステップH：リトラクターを取り外し閉創する

リトラクターを取り外し、血管、腹膜、および尿管を正常位置に戻す。取り外しは配置順序とは逆に行い、脈管構造の確認に続けて軟部組織構造の確認を行います。その後、外科医が望ましいと考える方法で閉創します。

ご質問がある場合、またはさらに詳しい情報が必要な場合は以下にご連絡ください：
+1 231 922 0177

改訂C
060221
ttjesalr-ja

Uncompromised Exposure

弊社ウェブサイトをご覧ください：THOMPSONSURGICAL.COM

Thompson SURGICAL INSTRUMENTS
10341 East Cherry Bend Road
Traverse City, Michigan 49684
電話: +1 231 922 0177
ファックス：+1 231 922 0174
thompsonsurgical.com

EC REP Emergo Europe
Prinsessegracht 20
2514 AP The Hague
オランダ

© 2021 Thompson Surgical Instruments, Inc.

® S-Lock®、PLA®、およびThompsonの「丸T」ロゴマークはThompson Surgical Instruments, Inc.の登録商標です。
特許権利者：trpat.com
注記：最適な製品の提供に努めておりますが、この文書に記載されている画像の一部は、実際の製品と若干異なることがあります。

患者の解剖学的特性、病状、外科的手技などといった多くの違いは、処置の予後に影響します。患者、製品、および手技の選択は、医療従事者単独の責任です。先進的MIS ALIFアクセス用Thompsonの技術に記載されている情報は教育を目的としたものであり、医学的助言として使用することを意図したものではありません。Thompsonの技術は医療専門家を対象としたものであり、患者向けではありません。

CE 0297

Made In USA